

ごとう通信

第107号

平成21年11月1日

今年は気持ち良い日が続いていますね。多少の雨や台風はあるものの、さわやかな気分で訪問する日が続いています。

先月、国立競技場で駅伝大会がありました。僕たちのランニングクラブ（ふれあいRC）も4人1組、5チームエントリーし、それぞれのレベルで楽しむことができました。僕のチームは40歳以上男子チーム。

とはいえ経験者2人を擁する強豪チームで上位入賞を狙いました。結果は600チーム中20位。ま



カーの僕は国立競技場のホームストレートを気持ちよく走りゴールイン。世界の名選手が走った同じ場所で走れるなんて夢のようでした。

さて、僕たちの訪問診療、十一月から始めたので今月から十三年目に突入しました。始めた当初は、「これから訪問歯科診療をする人はどんどん増えていくだろう」と思っていたのですが、実際はポチポチです。

今でも、「歯医者さんがうちに来てくれるなんて知らなかった」という声を聞きます。ちよつと残念です。

確かに、外来診療を一日中やっている先生が訪問診療に行くというのは大変なことです。時間にしてもスツツにしても。そこで期待したいのが若い先生たちです。時代を感じ、歯科医師として何が社会から求めら

れているのかを気づく人たちが出てきてほしいものです。

そんなことよりも、地域の空気がすえ、とても魅力的な人たちに会え、外来診療よりも高い技術を求められる訪問診療はとつてもやりがいがあるんですけどねえ。

エチオピア支援

先日、NPO武蔵野倶楽部という会に入会しました。この会はかつての名ランナー（大東文化大学↓神戸製鋼↓佐川急便）で現在はエチオピア女子チームのコーチをされている大隈広貴さんが代表をされています。エチオピアの女子選手育成や子供たちへの物資の支援、そして孤児院への寄付などを行っている会です。僕